

# 危険ドラッグってどんなもの？

ダメさ  
ないで！



危険ドラッグは  
買わない  
使わない  
かかわらない

危険ドラッグは  
「合法ドラッグ」などと称して  
売られています！  
あなたを壊す危険な薬物です！

危険ドラッグは、「脱法ドラッグ」、「合法ドラッグ」などと称して、多幸感や快感を高めたり、幻覚作用等を有するものとして販売されています。



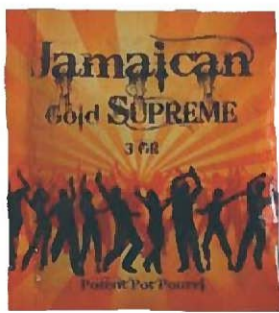
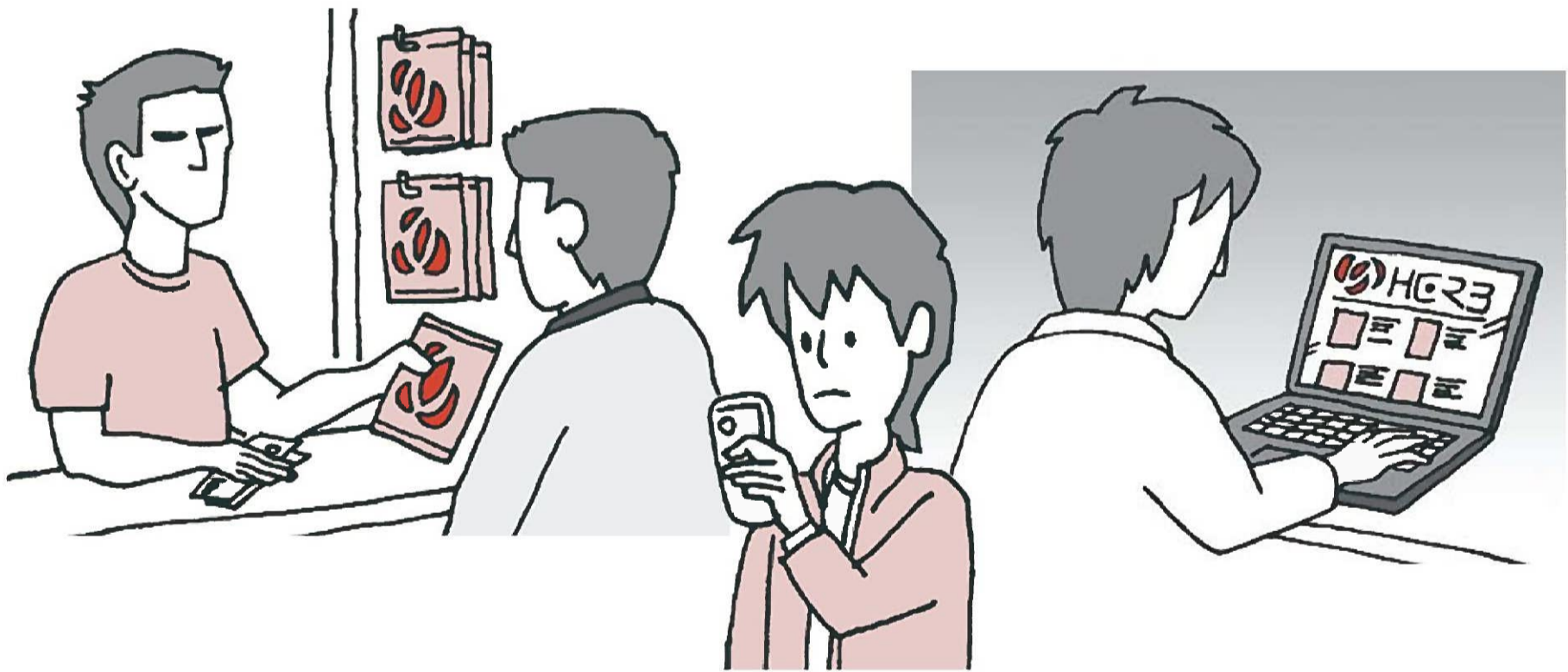
ハーブ、お香、芳香剤、アロマ、鑑賞用植物、ビデオクリーナーなどを装い販売されていますが、人体への使用により危害が発生するおそれがあり、法律で製造・輸入・販売等が禁止されています。



# 危険ドラッグの実態



インターネットや携帯電話の普及などにより、覚醒剤、大麻、MDMA、危険ドラッグなど、命さえ危険にさらす薬物が身近に広がっています。危険ドラッグは麻薬や覚醒剤等に指定されていないため、「合法」などと称され、あたかも安全であるかのような誤解を与えています。また、規制を逃れるため店舗やインターネット上において、「合法ハーブ」、「お香」、「アロマ」などと称し人体への摂取を目的としないものであるかのように販売されています。



道内で販売され、「指定薬物(※)」が検出された違反製品

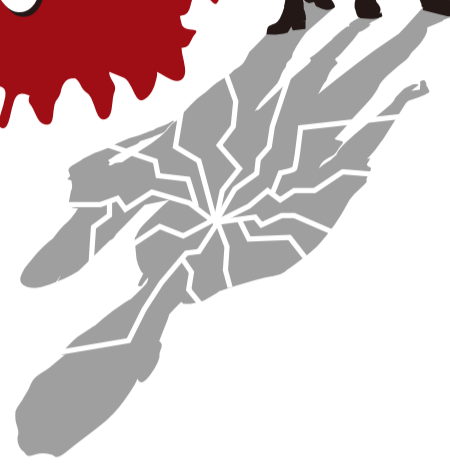
\* 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(平成26年11月25日施行)で製造や販売等が禁止されている薬物のこと。



# 危険ドラッグの人体への影響 1

危険ドラッグの摂取や使用は非常に危険です。どんな危険な物質が含有されているかわかりません。興味本位であっても決して摂取や使用はしないでください。使用後に自己コントロールできずにやめられない状態となったり、健康障害や、異常な行動を起したりすることがあります。

ダメじゃないで!



## 心身を壊す、危険ドラッグの被害例

呼吸停止

意識消失

幻覚

急性錯乱

急性中毒 妄想

精神運動

興奮

幻聴

転落死

後遺症



# 危険ドラッグの人体への影響 2

きけん

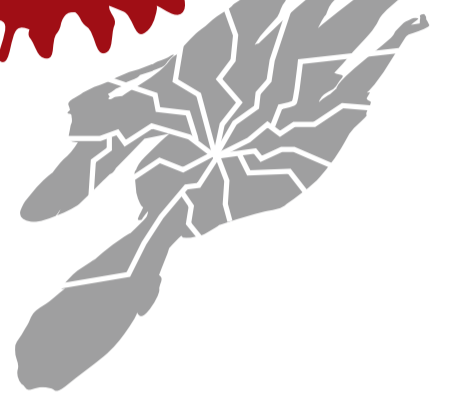
じんたい

えいきょう

危険ドラッグの乱用による青少年の事故や事件が増加しています。

危険ドラッグは安全性が全く確認されておらず、中には強い精神・身体毒性をもつ薬物もあり、使用による錯乱状態で他人を殺害した例や急性中毒により死に至るなど、命にかかわる事故・事件が発生しています。

ダメされないで!



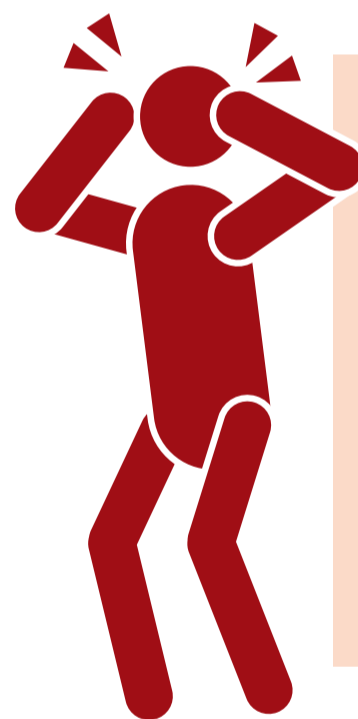
## 危険ドラッグは、大変危険です!



### 事例01

路上でハーブを吸った10代の少年3人が救急搬送。少年らの話から近くのハーブ店を家宅搜索。

※平成24年1月26日 産経ニュースより



### 事例02

24歳女性。違法ドラッグ摂取により幻視、視覚過敏(直線や曲線の輪郭を見ると心にじんじんとしみる)、聴覚過敏(聞こえる音がぼんぼん耳に響く)等の症状。

※精神医学47(11)1255-1257(2005)より



### 事例03

23歳女性。違法ドラッグ服用後、精神運動興奮(物を投げる、大声で叫ぶ)、見当障害(場所日付判らず)を発症。

※厚生労働科学研究「東京都内の精神科医療機関における脱法ドラッグの実態調査」(平成16年度)より



### 事例04

25歳男性。脱法ハーブを吸って車を運転し、信号待ちをしていたタクシーに誤って追突。自動車運転過失致傷で逮捕。

※平成24年9月3日 北海道新聞より

# 危険ドラッグの影響事例



危険ドラッグの乱用により、幻覚・妄想が現れ、殺人等の重大犯罪を起こすおそれがあります。また、麻薬・覚醒剤等の乱用へと移行する危険性の高い「ゲートウェイドラッグ」であり、生命と人生を破壊する薬物として社会的に大きな問題となっています。

## 凶悪な事件につながる可能性ががあります！

### 車暴走運転手の尿から脱法ハーブ成分危険運転致傷容疑で追送検

大阪市のアーケードなどで2人が重軽傷を負った6件のひき逃げと当て逃げ事件で、自動車運転過失傷害容疑などで逮捕された塗装工の容疑者(22歳)の尿から「 $\alpha$ -PVP」と呼ばれる脱法ハーブの成分が検出された。脱法ハーブの影響で正常な判断ができないまま車を暴走させたとして、より罰則の重い危険運転致傷容疑で追送検した。

平成 24 年 5 月 25 日 産経ニュースより

### 裸で暴れた男性、脱法ハーブで死亡か？

東京都渋谷区の路上で、脱法ハーブを吸ったとみられる男性が病院に搬送され、病院で死亡。調べによると近くにいた人から「男性が裸で暴れている」と110番通報があった。男性は30代で、駆けつけた救急隊員によって病院に運ばれたが、低酸素脳症による急性肺炎で死亡した。現場近くに袋に入った乾燥植物片が落ちていた。男性が脱法ハーブの影響で暴れていた可能性があるとして調べている。

平成 24 年 5 月 23 日 産経ニュースより

**脱法ハーブが原因？**  
**26歳無職男性が死亡**  
横浜市西区に住むアルバイトの男性(26歳)方から、「友人が倒れて息をしていない」と119番通報があった。室内にいた同区の無職男性(26歳)が病院に搬送されたが、午後死亡した。死亡した男性は同日未明、乾燥状の植物片をキセルで吸引したところ、嘔吐(おうと)し意識不明になった。植物片はアルバイト男性が横浜市内の店で購入したものであるという。

平成 24 年 4 月 12 日 産経ニュースより

### 「脱法ハーブ」吸引後に事故 2人逮捕

「脱法ハーブ」を吸った直後に車を運転し物損事故を起こしたとして、工員の男ら2人を道交法違反(過労運転等)容疑で逮捕した。事故は2人が使用したハーブの規制前だったが、県警は2人がハーブの影響で意識がぼんやりするなど、いずれも正常な運転ができなかった状態だったと判断。薬物の影響などがある場合の運転を禁じた道交法に違反するとして逮捕した。

平成 24 年 8 月 20 日 毎日新聞より

# 危険ドラッグの使用の結末

危険ドラッグには

麻薬成分

麻薬成分

を含むものも

発見されています!

ダメされないで!



薬物乱用は生命と人生を

崩壊させるだけではなく、

犯罪組織の資金源になったり

社会に大きな損害をあたえる

ことになります。

けっしてダメされないでください!

## 脱法ハーブ代を母に無心、 注意した父の腹刺す

北海道警旭川東署は脱法ハーブ欲しさに親に金を無心し、注意を受けたことに腹を立て父を包丁で刺したとして、無職男性(20歳)を殺人未遂容疑で現行犯逮捕した。自宅アパートの居間で、別居する父(43歳)の腹を、家にあった包丁で刺し、殺そうとした疑い。「脱法ハーブ」を買う金を同居の母親に無心したが、自宅に来ていた父がそれを聞き注意し、口論になったという。

平成 24 年 9 月 10 日 読売新聞より

## 「ハーブ買うカネほしかった」 16歳少年ら3人が振込め詐欺

息子を装って虚偽の話をし、計950万円をだまし取ったとして、警視庁少年事件課は、詐欺の疑いで定時制高校1年の男子生徒(16歳)と男性会社員(23歳)ら3人を逮捕した。男子生徒は「ハーブを買うカネがほしかった」などと容疑を認めているという。男子生徒らが昨年10月~今年2月、計190回にわたって計8000万円を引き出したとみて、指示を出した振込め詐欺グループを調べている。

平成 24 年 6 月 7 日 産経ニュースより